

過去運動の反省

過去に於ける吾等の運動は、本地方評議会創立上専ら、可共産派の右に以て狂烈なる逆宣傳を爲し、政府及資本家の斥逐と官公署の狂暴なる彈壓の間にあり、可多く大衆の信頼を得ず、可未だ事々吾等の運動が如何に大衆の眼に映るや、可向來の離れがその利益を代表して、可重切りなことを、可物語るも、可ある。

吾等大阪地方評議会を以ては、可専ら革新運動に参加せる各組合、可總司並幹部の右翼的政策に、可まもるるが、可したがして、可反革命的的精神によるも、可あり、可左翼的精神にまで、可進展せしめておかなかった。

かくの如き状態より去發したる吾等の運動は、可白根司並専ら、可自主的の運動と、可単に、可進んで、可意識的に、可躍進せしめた。その過程として多くの混亂と不統一を免れ得たが、可地方評議会の本質的任務も、可如難く、可隨て明確なる運動方針を樹立し得なかつた。吾等の評議会中、可本組合の方針に、可隨ひ、可大衆の、可身切の要求を代表し、可勇敢に闘争し、可全般的に、可正しく、可仕事を認むるも、可あるが、可尚不充分なる結果を、可挙げ得なかつた。吾等の運動は、可部分的にも多くの缺陷と、可缺陥を、可存しておかなくてはならぬ。

吾等以上、可過去の経験の、可嚴正なる、可批評と、可綜合と、可客觀的形勢の、可正確なる、可認識から、可過去の、可經驗を、可公衆に、可承認し、可その、可原因を、可究明し、可之を、可矯正する、可ための、可今後の方針を、可確立し、可之を、可実践せしむ。

一 過去の欠陥

- 一 理論として實際と、可村正的に、可扱ひ、可理論の、可行動化を、可なす、可又、可理論的、可闘争を、可輕視し、可したること。
- 二 本同盟が、可機械的、可の、可不明確な、可あり、可な、可事々、可な、可生じた、可不活動に、可對して、可之を、可克服せしむ、可る、可努力の、可足らなかつたこと。
- 三 日本同盟と、可過々、可の、可訓練と、可大衆の、可不統一、可を、可自覚的に、可認め、可階級的、可の、可不平に、可對して、可之を、可克服せしむ、可る、可努力が、可不十分であつた。
- 四 本同盟の、可計畫的、可の、可組織運動が、可行はず、可起つて、可來る、可問題も、可處理せず、可事々、可の、可最終に、可おた。
- 五 本同盟が、可反、可右、可の、可産業に、可勢力を、可集中し、可な、可かつたこと。
- 六 本同盟に、可未だ、可大衆を、可動員すること、可を、可念ひ、可工場、可本、可組合運動に、可對して、可方針